



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
 コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 一木 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 宮毛 忠相

TEL 03-5224-4900

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,007	△14.8	△52	—	△67	—	△263	—
26年3月期第3四半期	2,356	2.1	19	—	42	—	44	—

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 △188百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 81百万円 (32.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第3四半期	△11.86	—
26年3月期第3四半期	2.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第3四半期	4,382	2,698	61.4	121.13
26年3月期	4,806	2,913	60.2	130.22

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 2,689百万円 26年3月期 2,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,701	△30.2	△132	—	△148	—	△344	—	△15.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	22,615,056 株	26年3月期	22,615,056 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	413,169 株	26年3月期	413,101 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	22,201,918 株	26年3月期3Q	22,201,955 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(以下「当第3四半期」)の我が国経済は、円安や金融市況の回復を背景として、緩やかな回復基調にありました。先行きについても、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。当社の主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、デフレから脱却し堅調に推移しております。

このような経済状況のもと、当第3四半期の当社グループは、営業投資資産の売却活動、ホテル等の事業所の採算向上、新規店舗の出店検討並びに食品製造機械の生産・受注活動などに注力してまいりました。

当第3四半期の当社グループの業績は、大きな投資回収がなく、新規不動産の取得経費があったことなどから、売上高2,007百万円(前年同期比14.8%減)の減収となり、利益水準についても、営業損失52百万円(前年同期は営業利益19百万円)、経常損失67百万円(前年同期は経常利益42百万円)と黒字確保に至りませんでした。

さらに、第2四半期間において特別損失として定期建物賃貸借契約の中途解約による事業整理損223百万円を計上したことから、四半期純損失263百万円(前年同期は四半期純利益44百万円)となりました。

また、当社は、第2四半期間まで株式会社アドメック(東証PRO Market)を持分法適用関連会社としておりましたが、同社が直近に実施した増資による希薄化、並びに当社が保有株式を一部売却したことにより持分比率が低下したため(提出日現在の持分比率11.5%)、同社を持分法の適用の範囲から除外しております。

報告セグメントごとの業績は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第3四半期間においては、前年同期にあったような大きな投資回収はなく、売上高241百万円(前年同期比62.0%減)の減収となりました。また、損益については、不動産賃貸による収益49百万円があったものの、不動産取得経費17百万円などがあり、セグメント利益18百万円(前年同期比81.6%減)の減益となりました。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社及び株式会社ホテルシステム二十一(連結子会社)において、宿泊施設、ボウリング場及びインターネットカフェ店舗の運営、並びに給食業務の受託を行っております。

当第3四半期は、平成26年1月に事業譲り受けにより取得した「自遊空間大塚店」(東京都豊島区)の影響により売上高1,514百万円(前年同期比4.7%増)の増収となりましたが、消費税増税や水道光熱費の増加による影響などにより、セグメント利益18百万円(前年同期比7.5%減)の減益となりました。

なお、当第3四半期において、JR津田沼駅(千葉県)近くにインターネットカフェの新店舗を出店することを決定し、現在開店準備を進めております。

(マニュファクチュアリング事業)

当社グループは、旭工業株式会社(連結子会社)において、食品製造機械の製造及び販売を行っております。

当第3四半期は、納品4件の完了により売上高251百万円(前年同期比8.0%減)と堅調に推移し、さらに臨時の保守収入があったことから、セグメント利益21百万円(前年同期比66.0%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は4,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ423百万円減少いたしました。現金及び預金の減少529百万円、営業投資有価証券の減少161百万円、有形固定資産の増加468百万円、投資その他の資産の減少147百万円が主な変動要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は1,684百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円減少いたしました。短期借入金の減少552百万円、長期借入金(1年内返済予定のものを含む)の増加920百万円、1年内返済予定の社債の減少600百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は2,698百万円で、前連結会計年度末に比べ215百万円減少いたしました。四半期純損失263百万円、剰余金の配当22百万円、その他有価証券差額金の増加74百万円が主な変動要因であります。

この結果、自己資本比率は61.4%(前連結会計年度末は60.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月11日付当社「平成27年3月期 第2四半期決算短信」に記載の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,249,367	719,432
受取手形及び売掛金	186,445	157,660
営業投資有価証券	593,742	432,425
販売用不動産	145,000	145,000
商品及び製品	4,010	3,234
仕掛品	30,158	56,093
原材料及び貯蔵品	22,168	28,803
その他	123,058	106,277
貸倒引当金	△1,102	△569
流動資産合計	2,352,849	1,648,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	700,781	1,054,642
土地	1,011,891	1,117,788
その他(純額)	117,074	125,842
減損損失累計額	△195,602	△195,602
有形固定資産合計	1,634,145	2,102,671
無形固定資産		
のれん	360,573	320,765
その他	1,215	1,023
無形固定資産合計	361,788	321,789
投資その他の資産		
投資有価証券	121,599	169,272
敷金及び保証金	167,490	114,996
その他	170,289	27,521
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	457,459	309,870
固定資産合計	2,453,393	2,734,331
資産合計	4,806,243	4,382,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,154	110,546
短期借入金	560,000	7,500
1年内返済予定の長期借入金	20,290	61,080
1年内償還予定の社債	600,000	—
未払費用	106,501	117,340
賞与引当金	5,279	5,050
役員賞与引当金	—	800
その他	156,182	132,561
流動負債合計	1,536,410	434,877
固定負債		
長期借入金	147,115	1,026,430
長期預り敷金保証金	100,488	102,998
退職給付に係る負債	33,100	33,100
役員退職慰労引当金	10,600	10,600
その他	64,833	76,665
固定負債合計	356,137	1,249,794
負債合計	1,892,547	1,684,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,732	2,765,732
資本剰余金	20,849	20,849
利益剰余金	207,629	△69,209
自己株式	△83,280	△83,290
株主資本合計	2,910,931	2,634,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,694	55,221
為替換算調整勘定	△49	—
その他の包括利益累計額合計	△19,744	55,221
新株予約権	22,509	8,714
純資産合計	2,913,695	2,698,018
負債純資産合計	4,806,243	4,382,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	2,356,125	2,007,668
売上原価	1,180,363	848,265
売上総利益	1,175,762	1,159,402
販売費及び一般管理費	1,156,168	1,212,283
営業利益又は営業損失(△)	19,594	△52,880
営業外収益		
受取利息	22,545	1,258
受取配当金	1,152	4,677
為替差益	41,710	891
その他	2,997	2,941
営業外収益合計	68,404	9,768
営業外費用		
支払利息	20,715	9,599
社債利息	10,900	4,820
支払手数料	—	5,359
持分法による投資損失	13,913	3,031
その他	—	1,620
営業外費用合計	45,529	24,430
経常利益又は経常損失(△)	42,469	△67,542
特別利益		
新株予約権戻入益	2,908	13,795
関係会社株式売却益	3,254	—
関係会社清算益	12,203	—
投資有価証券売却益	—	24,308
持分変動利益	—	11,927
保険差益	5,171	844
その他	158	45
特別利益合計	23,695	50,920
特別損失		
事業整理損	—	223,388
関係会社株式評価損	1,590	—
事務所移転費用	—	4,564
その他	455	262
特別損失合計	2,045	228,216
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	64,119	△244,837
法人税、住民税及び事業税	18,126	19,249
法人税等調整額	1,100	△882
法人税等合計	19,227	18,366
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	44,891	△263,204
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,891	△263,204

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	44,891	△263,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,127	74,916
為替換算調整勘定	352	49
その他の包括利益合計	36,480	74,965
四半期包括利益	81,371	△188,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,371	△188,238

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング 事業	オペレーショ ン事業	マニファク チュアリング 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	636,994	1,446,196	272,934	2,356,125	—	2,356,125
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	636,994	1,446,196	272,934	2,356,125	—	2,356,125
セグメント利益	99,261	19,486	12,767	131,515	△111,921	19,594

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,921千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング 事業	オペレーショ ン事業	マニファク チュアリング 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	241,918	1,514,669	251,080	2,007,668	—	2,007,668
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	241,918	1,514,669	251,080	2,007,668	—	2,007,668
セグメント利益	18,296	18,019	21,194	57,510	△110,391	△52,880

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,391千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。